

ベトナム国ニョンチャック 2 (Nhon Trach 2) 発電所の権益取得について
～J パワー ベトナムで初の IPP 事業～

このたび、J パワー（電源開発株式会社、社長：中垣喜彦）は、ベトナム国ドンナイ省にあるニョンチャック 2 発電所を建設・所有・運営する権益を有するペトロベトナムニョンチャック 2 パワー社（Petrovietnam Nhon Trach 2 Power Joint Stock Company、以下「NT2JSC」）の 5% 権益を取得し、このほど当局への登記手続きを完了いたしました。本件は J パワーにとってベトナム初の IPP 事業への参画となります。

ニョンチャック 2 発電所は、2007 年に同国政府が承認したベトナム第 6 次電力開発計画（マスタープラン 6、年間電力需要伸び率 10% 超を想定）にて 2010 年の運転開始が予定されている発電所であり、ベトナム南部の電力需要の伸びに対応する電源として期待されています。計画では同発電所はベトナム南部沖合で産出される天然ガスを燃料とする出力 75 万 kW のガスコンバインドサイクルの発電所で、発生電力は全て国営ベトナム電力総公社へ売電されることとなります。J パワーは同発電所の建設・運営に関し技術的なサポートを行っていく予定です。

ベトナム国において、J パワーはこれまで数多くのコンサルタント事業を進めてまいりましたが、IPP 事業にも本案件をもって本格的に参画することとなります。ベトナムは年間 10% 超の電力需要の伸びが見込まれ、J パワーはベトナムをコンサルタント事業・IPP 事業含め電力セクター全般において、タイに続くアジアでの有望且つ重要な市場と位置づけております。今後とも、コンサルタント事業で培った経験や本案件を通して得られるベトナム IPP 事業の知見に加え、NT2JSC の筆頭株主であるペトロベトナムパワー社（国営ベトナム石油ガス総公社－ペトロベトナムの 100% 発電子会社）との良好な関係を活かし、これから成長が見込まれるベトナム国での更なる発電事業拡大を目指していきます。

< 添付資料 >

ニョンチャック 2 発電プロジェクトの概要